

『おおきな木（通級指導教室）』だより



豊中市立大池小学校 R6（2024）3・15

No.4

感じ方はひとそれぞれ

早いもので、学校の一年間はまもなく終わり、進級・進学の日を迎える季節になりました。

環境の変わり目が心配なのは、子どもも大人も同じです。

とくに新しい人間関係（新しい学校の人、新しいクラスの友だち、新しい先生・・・）のなかで、すっかり気疲れしてしまう子どもも少なくありません。

人はどんなことを感じながら生きているでしょう

○「五感」見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触る について

家族の中でエアコンの温度設定をめくり、「暑い！」「いや、寒すぎる」などひともんちゃくおこる話はよくあります。

暑さ・寒さの感じ方はひとそれぞれです。

食べ物の好みはかなり幅があります。カレーは国民食と言われ、給食でも人気No.1と言われてきましたが、最近はそうでもないようです。

においの強い納豆やパクチーは好みがはっきりとわかります。

音はどうでしょう。ライブでガンガン鳴る音楽にノリノリになる人もいれば、
静かな図書館を好む人もいます。

見え方については、前回の「おおきな木だより」で詳しく書きましたが、視力
以外にも見え方についてはかなり幅があります。

このように、視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚 の五感についてはひとそれぞれ、
とわかりやすいです。

○「好き・嫌い」「善い・わるい」について

しかし、社会生活や人間関係のなかで発展してきた感じ方・・善悪の感覚や嫌
と快の感覚などはなかなかわかりにくいものがあります。

あるものごと・できごとについて、すんなり受け入れられるか、イヤイヤなが
らガマンできるか、「もう限界～！！」なのかも、やはりひとそれぞれです。

感じ方が人とちがうのはわるいことなのでしょうか？

「人によって感じ方はちがう」

「お互いに人の感じ方を認め合う」

このことが自然に受け入れられたら、人間関係はかなり楽になるはずですよ。

もちろん、人に迷惑をかける行動は×ですが、何が好きか・何が苦手か、善い

と感じるか感じないか、許容できる範囲などについては他人に決められるもの
ではありません。

子どもの世界でも「目立ち過ぎず、引っ込み過ぎず、ほどほどの立ち位置」を
キープするのがたいへんと聞きます。同調圧力ということばがあります。

中学生になると、周りに嫌われてはたいへんと気を遣い過ぎてしんどくなる
子がふえますが、このときは「感じ方はひとそれぞれ」と開き直ることもひとつ
の方法ですね。

「人の気持ちを考えましょう」はよく言われる言葉ですが、そこにもうひとつ

「人の感じ方を尊重しましょう」を加えたいなと思います。

中学生になるみなさん

心はほんらい自由なものです。

自立した人同士が、お互いに認め合い協力し合って、あたたかく楽しい中学校
生活をつくって行ってくださいね。

(豊中市立大池小学校 通級指導教室担当：藤木桂子)

<この『おおきな木 (通級指導教室)』だよりは

大池小学校 HP にも掲載しています>

豊中市は中学校にも通級指導教室があります。

小学校は「おおきな木」の名前ですが、中学校では「ひろがり」という教室で

す。入学後、通級指導教室「ひろがり」についての説明があります。

もし通級指導教室に相談がある時は、豊中市内の中学校の「ひろがり」を訪ね
てみて下さい。豊中市内の通級指導教室は小学校・中学校が連携しています。